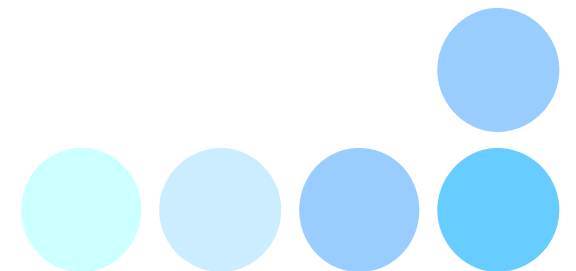


平成21年(2009年)3月期
第1四半期決算
～投資家様向け説明会～

2008年8月1日

オムロン株式会社



目次

2009年3月期 第1四半期決算

1. エグゼクティブサマリー	P. 4
2. 第1四半期決算結果報告	P. 6
3. 第2四半期累計ならびに通期業績見通し	P. 18
4. 自己株取得について	P. 21

<注意事項>

1. 当社の連結決算は米国会計基準を採用しています。
2. 業績見通し等は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なることがあります。
実際の業績等に影響と与える重要な要因には、(i)当社の事業領域を取り巻く日本および海外の経済情勢、(ii)当社製品・サービスに対する需要動向、(iii)新技術開発・新商品開発における当社グループの能力、(iv)資金調達環境の大幅な変動、(v)他社との提携・協力関係、(vi)為替・株式市場の動向などがあります。
なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

制御機器／FAシステム(IAB)

(インダストリアルオートメーションビジネス)

近接／光電／視覚センサ、PLC、温度調節器、
セーフティ機器、各種検査装置など

車載電装部品(AEC)

(オートモーティブエレクトロニックコンポーネンツビジネス)

キーレスエントリーシステム、パワーウィンドウスイッチ、
車載用リレー、レーザーレーダー、タイヤ空気圧監視システム、
電動パワーステアリングシステムなど

電子部品(ECB)

(エレクトロニクスコンポーネンツビジネス)

リレー、スイッチ、コネクタ、液晶バックライト、
アミューズメント機器用部品、
モバイル機器搭載部品、光通信部品など

- ・変位・測長センシング
- ・温度コントロール
- ・マシンコントロール
- ・画像センシング

- ・流量センシング
- ・音センシング
- ・光コントロール

- ・車間距離センシング
- ・電波センシング

健康機器(HCB)

(ヘルスケアビジネス)

電子血圧計、体組成計(体脂肪計)、
電子体温計、歩数計、ネプライザー、
動脈硬化検査装置、生体情報モニタなど

- ・人センシング
- ・車両センシング
- ・ICカード技術

- ・生体情報センシング
- ・行動情報センシング

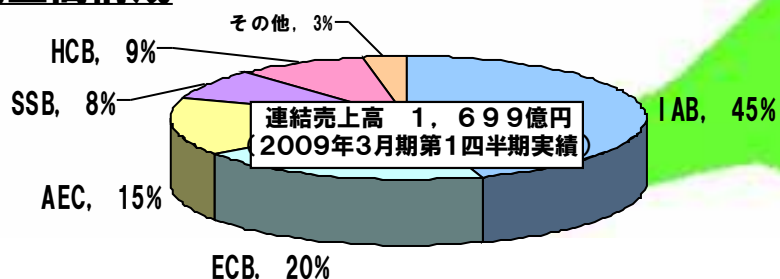
社会システム(SSB)

(ソーシャルシステムズビジネス)

自動改札機、自動券売機、
道路情報提供システム、
セキュリティマネジメントシステム、
顔認識システムなど

センシング & コントロール

売上高構成



連結子会社数等

連結子会社数	164社
持分法適用関連会社数	22社

※2008年6月末時点

1. エグゼクティブサマリー

エグゼクティブサマリー

第1四半期 決算とポイント

■売上、営業利益ともに主として国内景気低迷と為替の影響を受け、前年同期を下回る

(連結業績)	実績	前年同期比	
売上高	1,699億円	96.5%	
営業利益	48億円	49.7%	(営業利益率 2.8%)
税前利益	56億円	46.4%	(税前利益率 3.3%)
四半期純利益	35億円	36.1%	(四半期純利益率 2.1%)

■連結売上高: 前年同期比約3%の減少は、国内景気と為替影響が主要因

(為替換算差▲80億円を除くベースでは、前年同期比101%)

■営業利益: 前年同期比約50%の減少は、上記売上減と原材料高騰やIT構造改革、一時費用等の経費支出増が要因 (詳細は差異分析 P. 10参照)

■税前利益: 前年同期比約53%の減少は営業利益減少が主要因

2009年3月期 通期業績見通しとポイント

■売上、営業利益ともに当初計画通りを見込む

(連結業績見通し)	通期	前期比	
売上高	7,800億円	102.2%	
営業利益	600億円	91.9%	(営業利益率 7.7%)
税前利益	590億円	91.9%	(税前利益率 7.6%)
当期純利益	365億円	86.1%	(当期純利益率 4.7%)

2. 第1四半期 決算報告

売上高1,699億円 営業利益率2.8%
 連結売上・営業利益ともに主として国内景気低迷と為替の影響を受け、前年同期比を下回る
 （為替換算差▲80億円を除くベースでは、売上高は前年同期比101%）

全社P/L	2008/3期	2009/3期	前年同期比 %
	1Q 実績	1Q 実績	
売上高	1,761	1,699	96.5%
売上総利益	642	610	95.0%
販管費	422	440	104.1%
R&D費	123	122	99.0%
営業利益	97	48	49.7%
税引前四半期純利益	120	56	46.4%
四半期純利益	97	35	36.1%
<為替>			
USDレート	120.7	104.3	-16.4
EURレート	162.3	163.5	1.2

※2008年3月期 1Q実績の税引前四半期純利益は継続事業税引前純利益を適用

国内は前年同期比7%減、海外は売上増を為替で相殺されほぼ前年同期並
 ECB、AECは前年同期を下回るが、IAB、SSB、HCBは前年並
 (1Q売上高は、内部計画値に対して70億円の未達)

(億円)

国内／海外	2008/3期 1Q 実績	2009/3期 1Q 実績	前年同期比 %
国内	784	729	93.0%
海外*	977	970	99.3%
合計	1,761	1,699	96.5%

*直接貿易は海外に含む

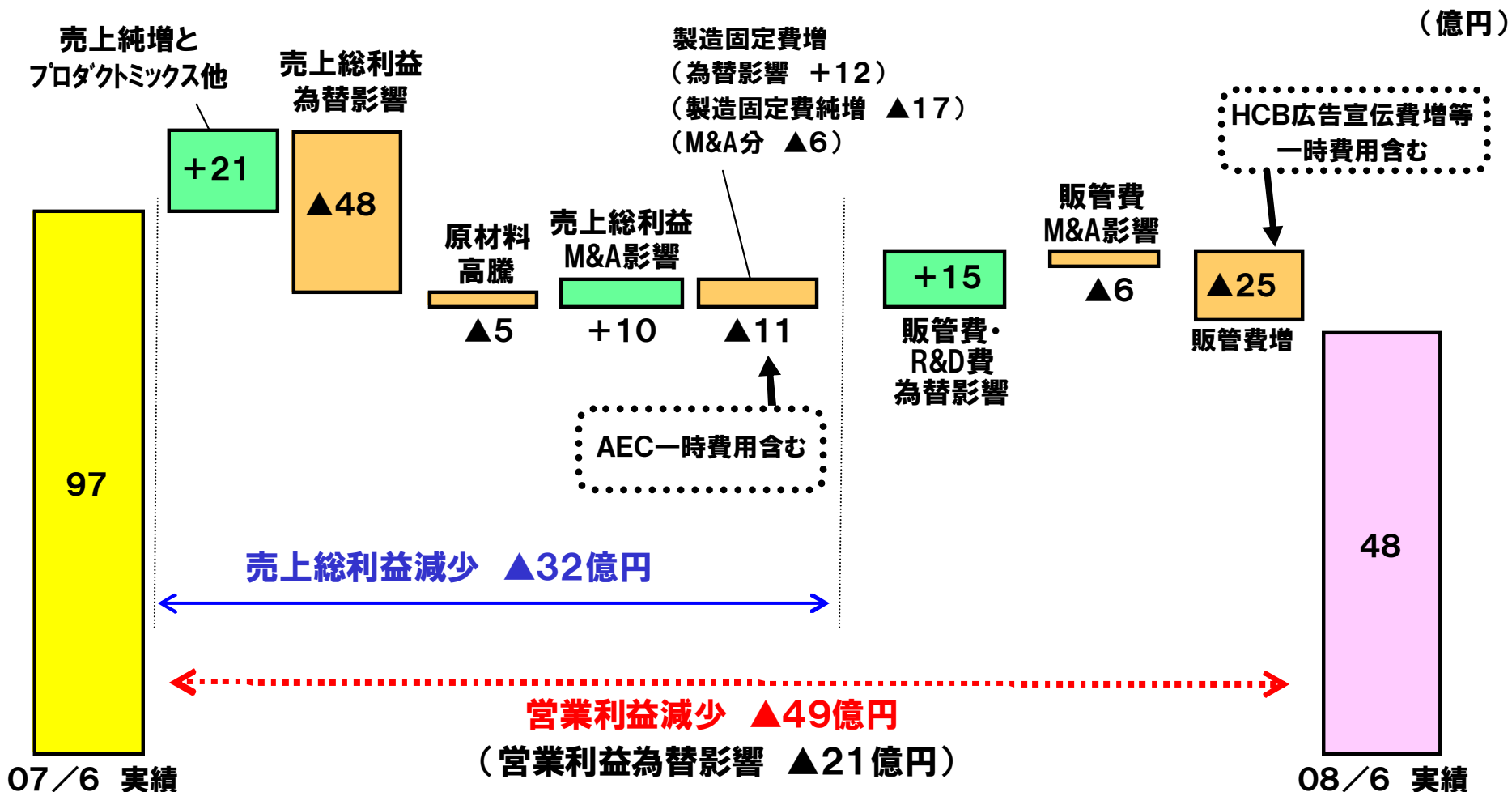
セグメント別	実績	実績	前期比
IAB	779	769	98.8%
ECB	382	345	90.3%
AEC	273	259	94.7%
SSB	138	142	102.6%
HCB	148	147	98.8%
その他	41	38	92.9%
合計	1,761	1,699	96.5%

各セグメントによって要因は異なるが、すべてのセグメントにわたり前年同期を下回る
(1Q営業利益は、内部計画値に対して12億円の未達)

(億円)

セグメント別	08/3期 1Q 実績	09/3期 1Q 実績	前年同期比 %
IAB	107	101	94.7%
ECB	25	7	27.0%
AEC	5	▲ 8	—
SSB	▲ 15	▲ 16	—
HCB	14	3	20.7%
その他	1	0	—
本社費他消去	▲ 40	▲ 39	—
合計	97	48	49.7%

国内景気低迷と為替影響による売上減、原材料高騰などで前年同期比大幅減少

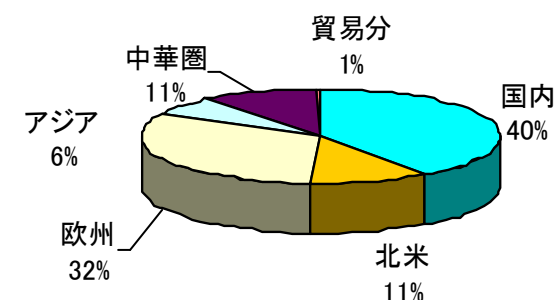


売上高は前年同期比微減の769億円、営業利益率13.1%
海外は堅調に推移するものの国内は低調

(億円)

IAB	08/3期 1Q 実績	09/3期 1Q 実績	前期比 %
国内売上高	318	309	97.1%
海外売上高	460	460	99.9%
北米	95	82	85.8%
欧州	229	245	106.9%
アジア	36	47	132.7%
中華圏	86	81	94.6%
貿易分	15	5	34.0%
売上総合計	779	769	98.8%
営業利益	107	101	94.7%
営業利益率	13.7%	13.1%	▲0.6P

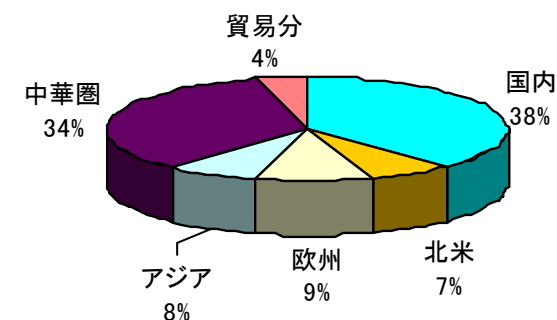
地域別売上構成比



売上高は前年同期比約10%減の345億円、営業利益率2.0%
 小型バックライト事業は好調だが、原材料高騰、設備投資増、
 アミューズメント事業の低迷により営業利益は一時的に落ち込む

ECB	(億円)		
	08/3期 1Q 実績	09/3期 1Q 実績	前年同期比 %
国内売上高	153	131	86.0%
海外売上高	229	214	93.2%
北米	29	24	82.6%
欧州	31	32	103.2%
アジア	23	26	113.5%
中華圏	120	119	99.2%
貿易分	27	14	49.9%
売上総合計	382	345	90.3%
営業利益	25	7	27.0%
営業利益率	6.5%	2.0%	▲4.5P

地域別売上構成比

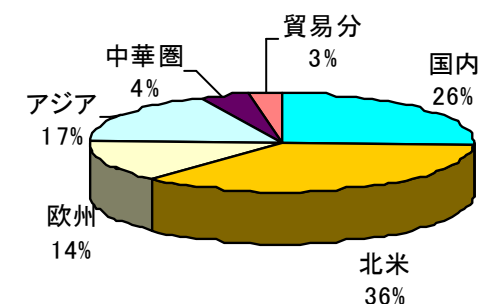


売上高は前年同期比約5%減の259億円、営業利益マイナス
 売上、営業利益不振は北米での外部環境悪化や為替、原材料高騰、一時費用増などが主要因

(億円)

AEC	08/3期 1Q 実績	09/3期 1Q 実績	前年同期比 %
国内売上高	70	68	97.2%
海外売上高	204	191	93.9%
北米	113	93	82.0%
欧州	34	36	104.9%
アジア	51	45	87.8%
中華圏	5	11	202.2%
貿易分	0	7	-
売上総合計	273	259	94.7%
営業利益	5	▲ 8※	-
営業利益率	1.9%	-	-

地域別売上構成比



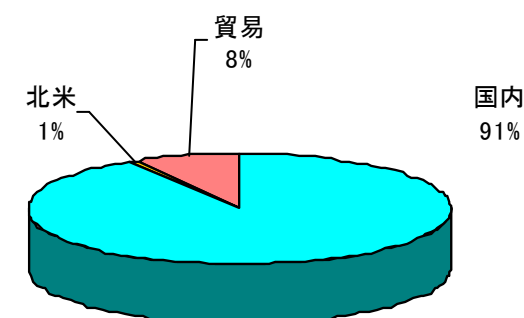
※本社実施の研究開発投資で、09/3期より移管した分を含む

売上高は前年同期比約3%増の142億円、営業利益マイナス
売上、営業利益とも堅調に推移

(億円)

SSB	08/3期 1Q 実績	09/3期 1Q 実績	前年同期比 %
国内売上高	136	129	95.2%
海外売上高	2	13	516.0%
北米	2	1	44.6%
欧州	0	0	-
アジア	0	0	-
中華圏	0	0	-
貿易分	0	11	-
売上総合計	138	142	102.6%
営業利益	▲ 15	▲ 16	-
営業利益率	-	-	-

地域別売上構成比

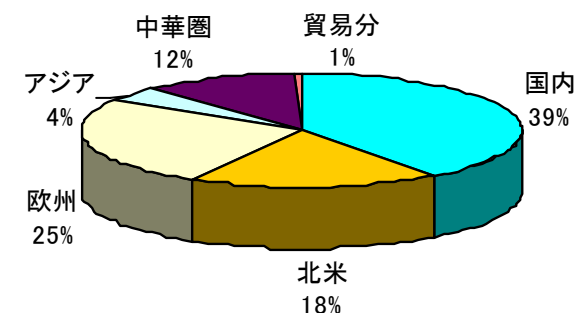


売上高はほぼ前年同期並の147億円、営業利益率1.9%
一時的な在庫調整による国内売上減、および広告宣伝費等の増加により営業利益減少

(億円)

HCB	08/3期 1Q 実績	09/3期 1Q 実績	前年同期比 %
国内売上高	72	58	80.1%
海外売上高	76	89	116.7%
北米	27	27	102.7%
欧州	31	37	119.9%
アジア	5	6	122.4%
中華圏	12	17	146.2%
貿易分	2	1	55.8%
売上総合計	148	147	98.8%
営業利益	14	3	20.7%
営業利益率	9.3%	1.9%	▲7.4P

地域別売上構成比



自己資本比率61.6%

為替換算調整額等の増加(資本の部)により、前期末比1.9ポイント増加

(億円)

連結B/S	2007年6月	2008年3月	2008年6月
(資産の部)	6,318	6,174	6,229
現預金	446	406	429
売上債権	1,577	1,647	1,469
在庫	1,016	951	1,059
その他流動資産	317	297	338
固定資産	1,606	1,527	1,563
投資その他資産	1,356	1,346	1,371
(負債の部)	2,253	2,469	2,371
短期借入金	192	183	248
長期借入金	14	15	17
その他負債	2,047	2,271	2,106
少数株主持分	19	20	21
(資本の部)	4,046	3,685	3,837

設備投資の増加などにより、
投資活動によるキャッシュフローは106億円の支出

連結CF			(億円)
	2007年6月	2008年6月	(参考) 2008年3月
営業活動によるキャッシュフロー	141	128	690
投資活動によるキャッシュフロー	▲75	▲106	▲367
FCF	66	22	323
財務活動によるキャッシュフロー	▲65	2	▲345
換算レート変動の影響	16	0	▲2
期中の現金増減額	16	23	▲24
期末の現金残高	446	429	406

3. 第2四半期累計ならびに通期業績見通し

当初計画値を変更しない

(億円)

	08/3期 2Q累計 実績	09/3期 2Q累計 当初計画	前年同期比 %
売上高	3,661	3,680	100.5%
売上総利益	1,389	1,367	98.4%
販管費	875	892	101.9%
R&D費	248	275	111.0%
営業利益	266	200	75.2%
税前利益	273	195	71.4%
当期純利益	188	120	63.8%

※当初計画は2008年4月28日公表値

当初計画値を変更しない

(億円)

	08/3期 通期 実績	09/3期 通期 当初計画	前年比 %
売上高	7,630	7,800	102.2%
売上総利益	2,933	3,005	102.4%
販管費	1,766	1,835	103.9%
R&D費	515	570	110.6%
営業利益	653	600	91.9%
税前利益	642	590	91.9%
当期純利益	424	365	86.1%
EPS(円)	185.89	165.34	88.9%

※当初計画は2008年4月28日公表値

4. 自己株取得について

150万株(上限)または50億円(上限)の自己株取得を実施予定

自己株式の取得に関するお知らせ(2008年7月31日開示・抜粋)

当社は、本日開催の取締役会において、下記の通り自己株式を取得することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

- (1) 取得する株式の種類 : 普通株式
- (2) 取得する株式の総数 : 150万株(上限) (発行済株式総数(自己株除く)に対する割合 0.68%)
- (3) 株式の取得価額の総額 : 50億円(上限)
- (4) 取得する期間 : 平成20年8月4日から平成20年9月3日まで

※

※発行済株式総数(自己株含む)に対する割合は 0.63%

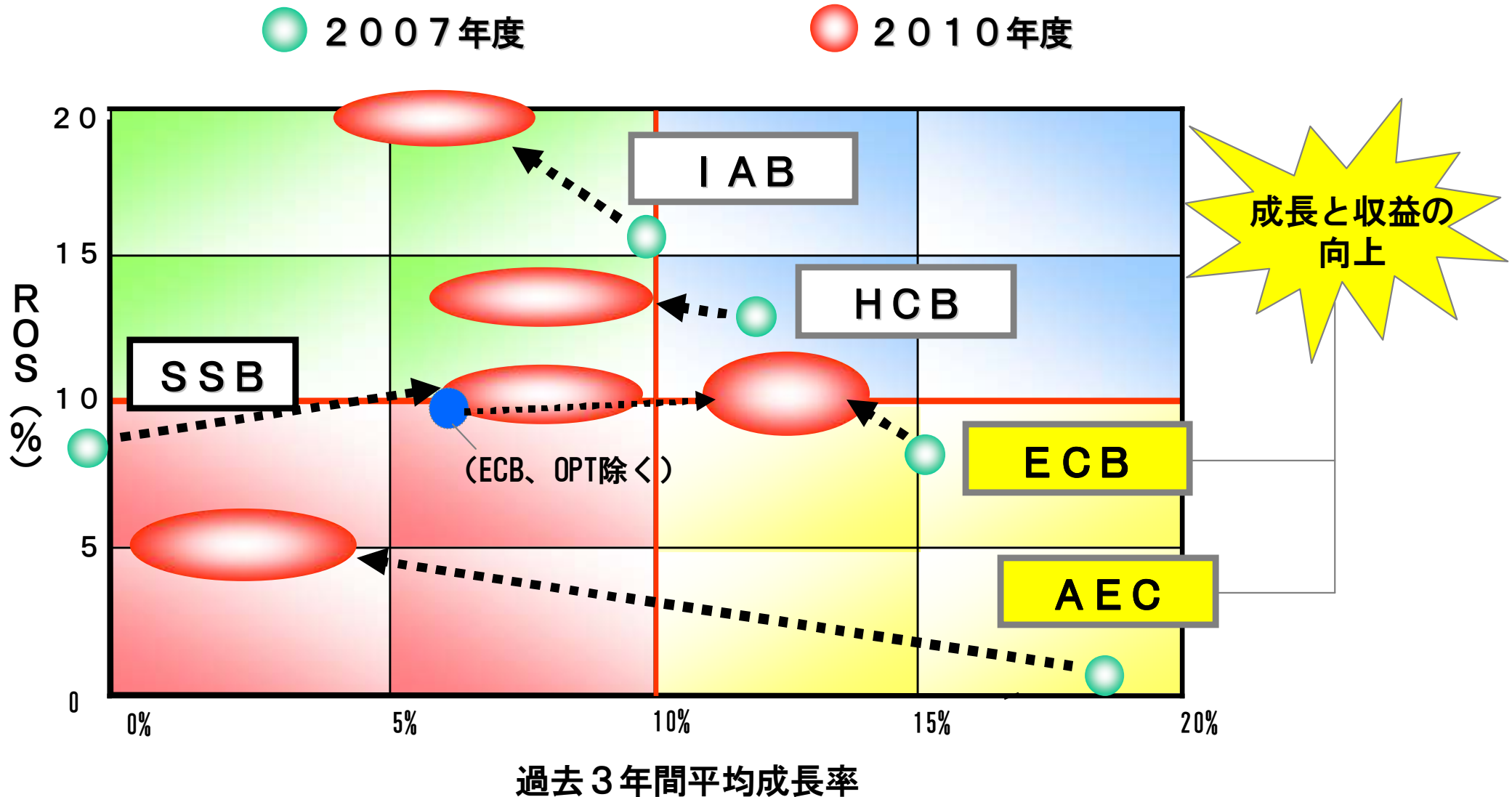
自己株式保有の推移と見込み

	2008年6月末	150万株取得後 (2008年6月末ベース)
発行済株式数(自己株含む)	239,121,372	239,121,372
自己株式数	17,444,986	18,944,986
保有割合	7.3%	7.9%

(参考情報)

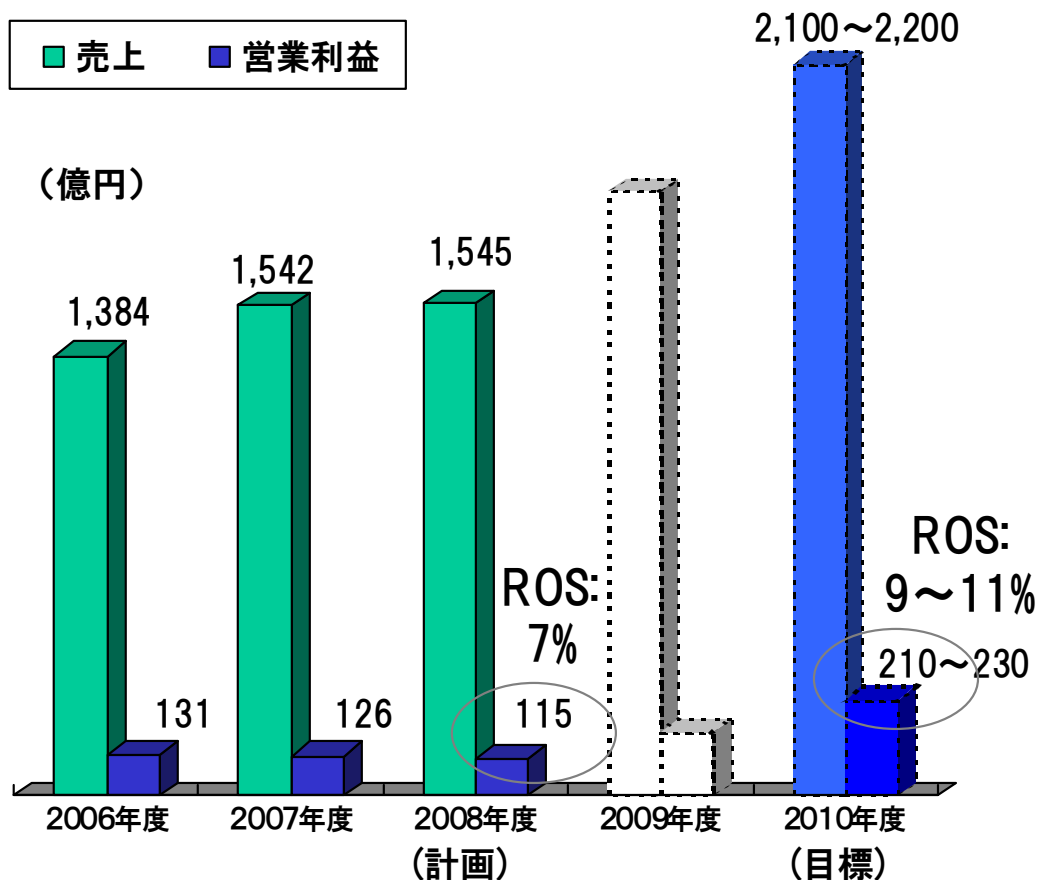
- ・GD2010 3rdステージ補足
- ・為替の動向
- ・原材料価格の動向

2010年度の各セグメントの成長・収益性イメージ



ECBでは、2010年度にROS 10%以上を達成する

< ECBの売上、営業利益推移 >

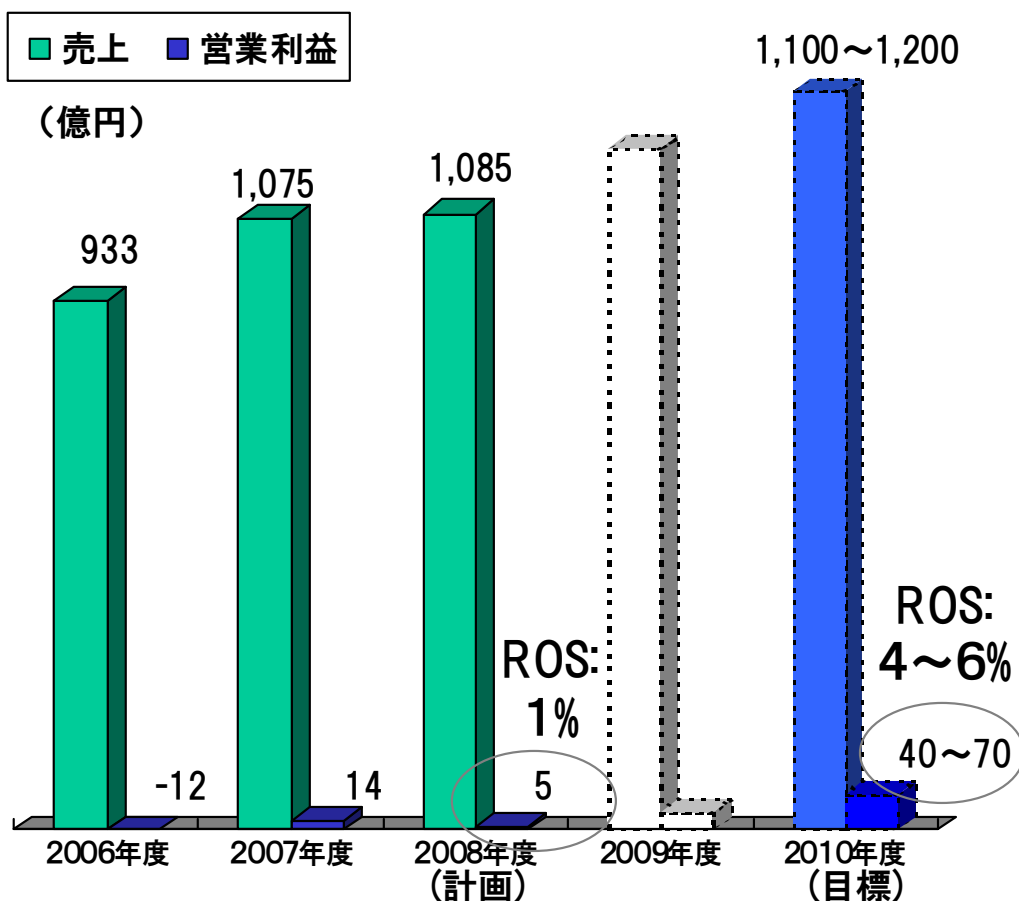


2010年度に向けたROS向上への打ち手

- ① リレー事業の収益性最大化、および、スイッチ/コネクタ事業の拡大
- ② 中小型バックライト事業の収益性改善
 - ・売上拡大
 - ・利益率改善(ROS 4%ポイント改善)
- ③ マイクロデバイス事業の拡大
 - ・MEMSの売上拡大

AECでは、2010年度にROS 5%を達成する

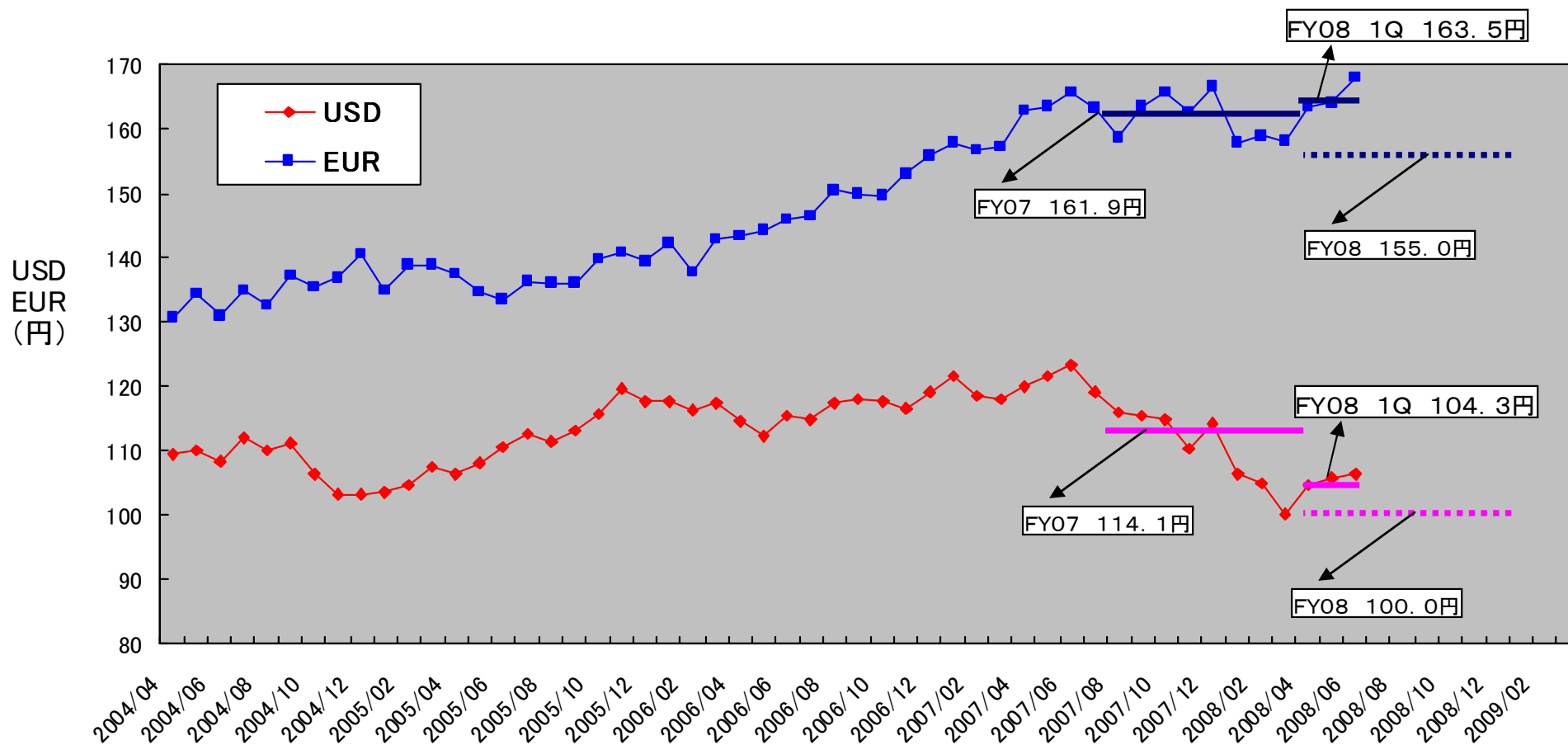
< AECの売上、営業利益推移 >



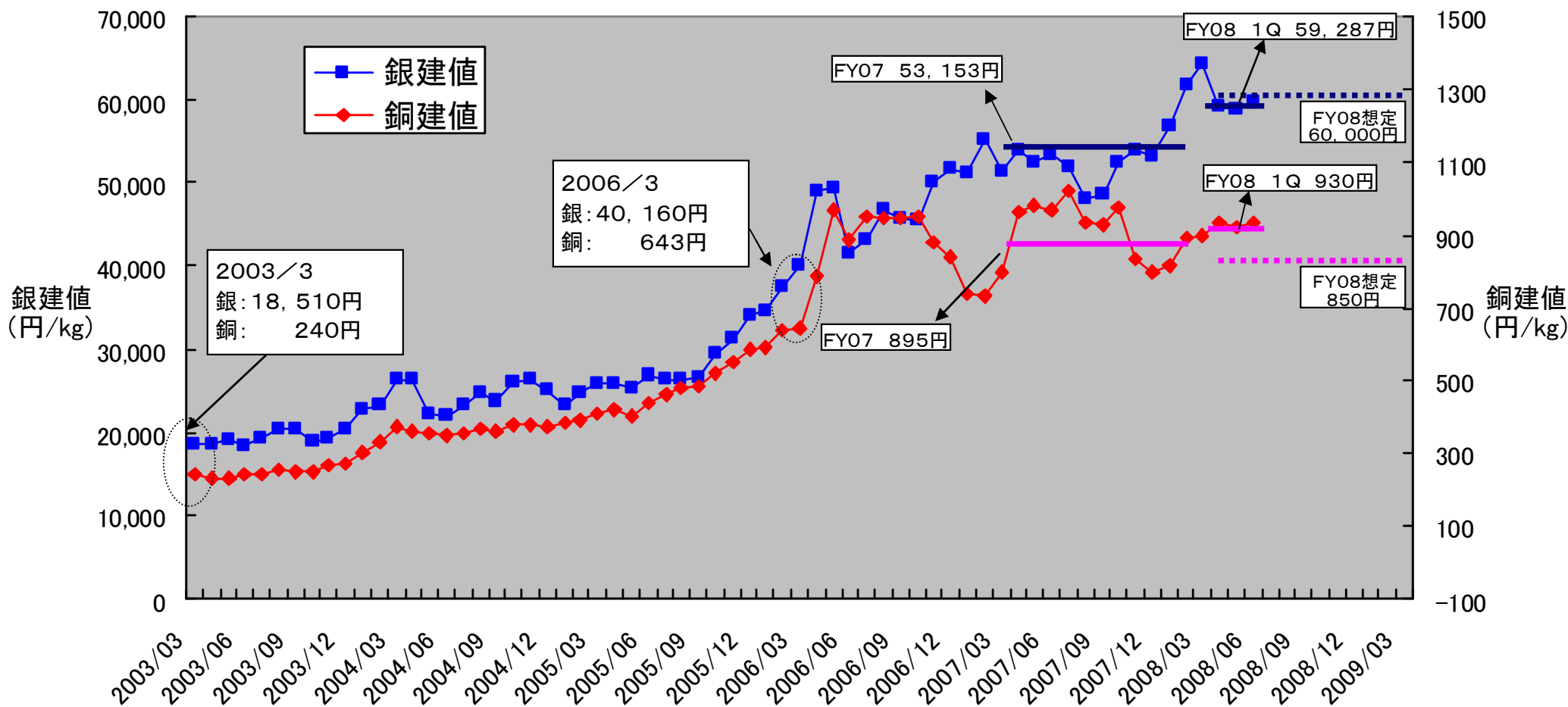
2010年度に向けたROS向上への打ち手

- ①EPSの事業拡大と収益性改善
 - ・グローバルでの売上拡大
 - ・プロダクトミックスでの収益性改善
- ②生産性改善
 - ・集中購買
 - ・最適地生産
- ③販管費抑制
 - ・SCMプロセス革新

ドルは2007年後半より下落、ユーロは高値が続く



銀は2007年度後半より高騰、銅は高値が続く





センシング&コントロール技術で 「安心をカタチに」



＜お問い合わせ＞

オムロン株式会社

グループ戦略室 経営IR部

電話 : 03-3436-7170

E-mail : omron_ir@omron.co.jp

HPアドレス : www.omron.co.jp

